

**インフルエンザ患者報告数が、警報レベルを超えました。
～手洗い、せきエチケットなど感染拡大防止に努めましょう～**

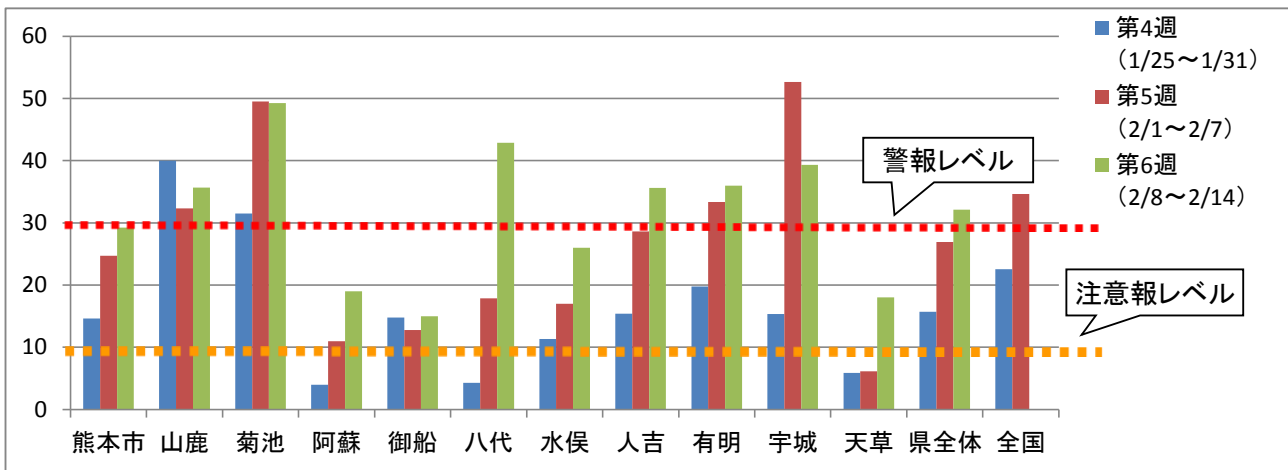
平成28年第6週(2月8日～2月14日)の熊本県感染症発生動向調査で、県全体のインフルエンザの定点あたりの患者報告数(※)は、32.13(報告数2,570)となり、警報の基準値(定点あたり30)を超えました。

保健所別では菊池(定点あたり49.25)、八代(定点あたり42.86)、宇城(定点あたり39.33)、有明(定点あたり36.00)、山鹿(定点あたり35.67)、人吉地域(定点あたり35.60)が警報レベル(定点あたり30)を超え、熊本市(定点あたり29.24)、水俣(定点あたり26.00)、阿蘇(定点あたり19.00)、天草(定点あたり18.00)、御船地域(定点あたり15.00)が注意報レベル(定点あたり10)を超えています。

一人ひとりが、手洗い、せきエチケットなどインフルエンザ対策をしっかりと実行しましょう。特に、医療機関や高齢者施設、保育所、幼稚園、学校など集団生活の場では、徹底した感染予防に努めてください。詳しい予防対策は、裏面や国、県のホームページをご覧ください。

※定点あたりの患者報告数…あらかじめ選定された県内80医療機関(定点医療機関)を1週間に受診した患者数を80で割った数

○定点あたりの患者報告数



※全国の流行状況の情報還元には時間差があるため、全国の情報には平成28年第5週分までとなっています。

○地域(保健所)別定点あたりの患者報告数

	熊本市	山鹿	菊池	阿蘇	御船	八代	水俣	人吉	有明	宇城	天草	県全体	全国
第4週 (1/25~1/31)	14.64	40.00	31.50	4.00	14.80	4.29	11.33	15.40	19.75	15.33	5.86	15.70	22.57
第5週 (2/1~2/7)	24.72	32.33	49.50	11.00	12.80	17.86	17.00	28.60	33.38	52.67	6.14	26.91	34.66
第6週 (2/8~2/14)	29.24	35.67	49.25	19.00	15.00	42.86	26.00	35.60	36.00	39.33	18.00	32.13	-

《参考》

■ : 警報

■ : 注意報

厚生労働省ホームページ「インフルエンザに関する情報」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuleenza/index.html

熊本県ホームページ「インフルエンザ総合情報ホームページ」

http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_13799.html

連絡先 健康危機管理課
直通 096-333-2240
内線 7082, 7080
(感染症・新型インフルエンザ対策班)
担当: 貞池、山鹿

(裏面あり)

【全国のインフルエンザ流行状況】

全国の平成28年第5週（2月1日～2月7日）の定点あたりの患者報告数は「34.66」となっています。

全国の流行状況の情報還元には時間差があるため、1週古い情報になります。

今シーズンに入って国内各地で検出されたウイルスはA型が最も多くなっています。

インフルエンザウイルスは大きくA型、B型、C型に分類され、主に、国内で流行しているのは、A型とB型です。

【インフルエンザはどんな病気？】

突然の高熱と寒気、頭痛、全身のだるさ、筋肉痛などの全身症状が特徴です。

時には肺炎や脳症などを併発して重症になることもあります。

インフルエンザはその年により流行の程度に差がありますが、11月から12月に始まり、翌年の1～3月頃の間には患者が増加します。

【インフルエンザの予防法は？】

流行時には人混みを避ける。

時間をかけた丁寧な手洗いを習慣づける。

栄養、休養、睡眠を十分に取る。

部屋の換気と保湿に心がける。

【インフルエンザにかかったらどうすればよいの？】

早めに医療機関を受診して治療を受ける。

安静にし、十分な休養を。

水分（お茶、ジュース、スープなど）を十分に補給する。

周りの人へうつさないために、マスクをつけ、外出を控える。

せきエチケットを守る。

せきエチケットとは？

～感染の拡大を防ぐための大切なルールです～

- ◆ せき・くしゃみの際はティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむけましょう。
- ◆ 使用後のティッシュは、すぐにフタ付きのゴミ箱に捨てましょう。
- ◆ せきをしているときは、マスクをつけましょう。

【熊本県の過去のインフルエンザ流行状況】

シーズン	流行入りした週 (1)	注意報レベルに達した週 (2)	警報レベルに達した週 (3)	シーズン中、最も報告が多かった週
2015～2016 (今シーズン)	平成28年第2週	平成28年第4週	平成28年第6週	
2014～2015	平成26年第50週	平成26年第52週	平成27年第2週 (H27.1.5～1.11)	平成27年第3週
2013～2014	平成25年第51週	平成26年第3週	平成26年第5週 (H26.1.27～2.2)	平成26年第5週
2012～2013	平成24年第52週	平成25年第3週	警報レベルに至らなかった	平成25年第5週

- 【国が定める基準】**
- | | | | |
|---|--------|-----------------|----|
| 1 | 流行入り | ・ ・ 定点あたりの患者報告数 | 1 |
| 2 | 注意報レベル | ・ ・ 定点あたりの患者報告数 | 10 |
| 3 | 警報レベル | ・ ・ 定点あたりの患者報告数 | 30 |